



# 往還通信

第121号

ホームページ <https://miekenjukai.com>

E-mail [oukan@cnetmie.ne.jp](mailto:oukan@cnetmie.ne.jp)



社会福祉法人 三重健寿会

特別養護老人ホーム 往還

〒510-8103 三重県三重郡朝日町大字柿字熊之田564番地

Tel (059)377-6011 Fax (059)377-6001

R5.11.11発刊



## 往還祭り 令和5年10月28日(土)



令和5年度 往還祭を終えて

花菖蒲ユニットリーダー 館 大輔

10月28日に往還祭を開催しました。コロナウィルスやインフルエンザ感染防止の観点から、職員及び利用者様のみでの開催となりましたが、各ユニット内では様々なゲームを行い、東棟1階 往還ホールにて綿あめや和菓子、豆腐田楽の屋台を設置し、祭りの屋台の雰囲気を楽しんで頂きました。また玄関付近に太鼓や鈴・鳴子などの楽器や手作りの山車を用意し、楽器を鳴らし、山車の前にて写真を撮るなど祭りの雰囲気を味わって頂きました。

利用者様が楽しそうに楽器を鳴らされている姿を見て、今年も往還祭を開催出来たことを嬉しく思いました。

今回の往還祭を開催出来たのも、常日頃からのご家族様のご協力、ご支援の賜物であります。この場をお借りしてお礼申し上げます。

また開催において今回、職員全員が協力を惜しまずに、より良い往還祭を目指していただいた事、また技能実習生の職員が異国の慣習に合わせて協力してくれたことにも感謝の気持ちで一杯であります。

皆様、ありがとうございました。



# 老と死/斗争と和解 不老不死

理事長 柿澤善樹



「不老不死」と聞くと、徐福伝説を思い浮かべる方も多いのではないか。徐福は秦の始皇帝に「東方の三神山に長生不老の霊薬がある」と進言し、始皇帝の命を受け、3,000人の童男童女（若い男女）と百工（多くの技術者）を従え、財宝と財産、五穀の種を持って東方に船出したものの帰ってこず、国内にて詐欺師呼ばわりされた。B.C.200年代の話である。仙人が住む東方の三神山には蓬莱・方丈・えい州があり、それは日本にあったとの説もある。富士山は三神山の方丈であり、富士は不死であるとの説もある。「との説もある」が多いので以下略す。文献上最初に富士登山したのは聖徳太子である。古事記、日本書紀に例えば倭健命（日本武尊）が魔物と戦った伊吹山の記載はあるが富士山は出てこない。

徐福は一か所に辿り着いたのでなく複数の地に至り又その後一部が他の地に移ったことであろう。有力なのは佐賀、熊野、新宮である。八丈島では徐福が養蚕を持ち込んだとの伝承がある。京都太秦を連想する。地球が丸いと知らない古代人が、太陽が昇る東方の海の彼方へ憧れる事は考えられる。

秦の始皇帝はユダヤ人とも云われている。2,700年程前、アッシリアに滅ぼされたイスラエル王国の民は「失われた10支族」と呼称され世界を彷徨い、一部中央アジアを経て秦氏となった。その一部が百済を経由し「弓月の君」として127縣（18,670余人）の民と共に応神天皇の時代に日本へ渡った。

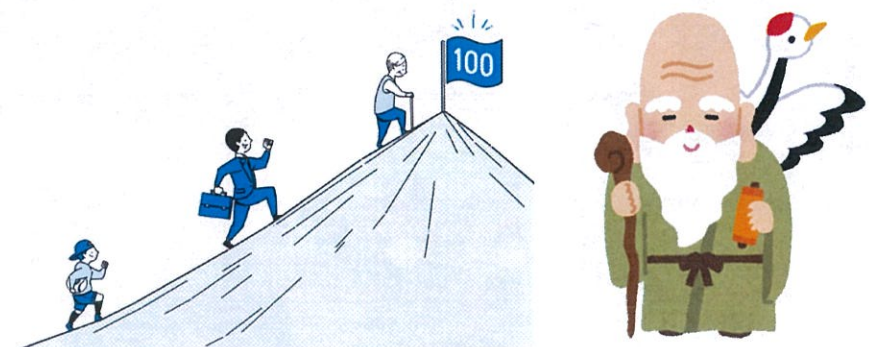
A.D.70年、ローマ帝国の属国ユダヤ属州は本国へ反乱を起こし敗北。現在一部「嘆きの壁」として残っているヘロデ神殿を破壊されエルサレムを失った。離散したユダヤ人の跡地に1,900年間パレスチナ人が暮らしていた。第一次世界大戦後、イギリスによる「アラビアのロレンス」が絡んだ「三枚舌外交」、国連オスロ合意を守らないイスラエルに現在のパレスチナ問題の原因があるとの意見も多い。イギリス、アメリカがイスラエルを支持するのは正義でなくユダヤ資本の影響と云われている。

弥生時代の最多死亡年齢は30歳前後と言われている。室町時代35歳、江戸時代43歳、明治時代56歳。2000年男性74歳、女性86歳、2021年男性85歳、女性92歳である。ピークが高齢化しただけでなく人数も多くなっている。100歳以上の人数について、100歳記念で国から銀杯を頂けることになった1963年は153人、きんさんぎんさんが話題の1991年3,625人、往還開設時2006年28,395人、本年2023年92,139人である。銀杯は純銀製だったが2016年から銀メッキに変更となった。

現在、「人生100年時代」と言われている。ある予測統計によると、主要先進国では「2007年生まれの子どもの50%が100歳を超える」とされ、日本では半数が107歳まで生きる可能性があるという。本当なのか。秦の始皇帝も驚くに違いない。人により大きな差があるが「私も、もうこんな年齢になった」など考えている時代でない。

現代医学では、人工呼吸器をつけ点滴等にて栄養補給すれば、瞳孔反射がなく脳死状態でも爪も髪の毛も伸び続け、皮膚の状態も以前と変わらない状態を保つことができる。

介護は「戦い続けた人生」の撤退戦である。個人差はあるが人生の終末をどのような形にするのか、自分自身、家族共々考え続けよう。





## ウイルス対策と口腔ケアの関連性

なんと、口腔ケアでインフルエンザ・コロナは予防できる！

【風邪の季節に知っておきたい口腔ケアとウイルス感染の関係性】

最近ではインフルエンザ感染者数が急増し、史上最速の注意報が発令されています。

また今年（2023年）5月以降、コロナ感染者数も増加の一途を辿り、この秋冬にかけてインフルエンザ・コロナウイルスの同時流行が懸念されています。今回は、ウイルス感染対策としての口腔ケアについてお伝えしたいと思います。

インフルエンザ発症率 (%)

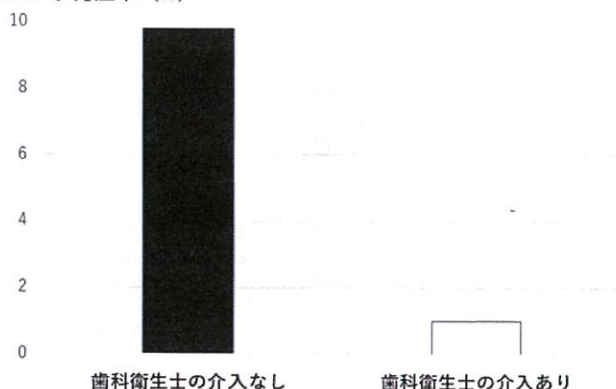


図1.インフルエンザ感染予防に対する口腔ケアの効果

東京歯科大学の奥田克爾氏らの研究グループは、歯磨き（口腔ケア）がインフルエンザの予防に関与するかどうかを調べるため、東京都府中市の特別養護老人ホームのデイケアに通う65歳以上の高齢者98人を対象として調査を実施しました。調査期間はインフルエンザの流行期である2003年9月から04年3月で、歯科衛生士による口腔ケアと集団口腔衛生指導を1週間に1回の頻度で実施しました。その結果、インフルエンザの発症は1人でしたが、別のデイケアに通う高齢者92人に歯科衛生士が関与しない、つまり本人および介助者による通常の口腔ケアを続けたところ、9人の人がインフルエンザを発症しました。各施設でのワクチン接種率に有意な差はなかったものの、歯科衛生士が関与したグループはインフルエンザの発症率が98人のうちわずか1人（約1.0%）であったのに対し、関与しないグループは92人のうち7人（約9.8%）となり、およそ10倍もの差があることが明らかになったのです（図1）。歯磨き（口腔ケア）でお口の中の細菌の数を減らすことがインフルエンザ予防につながることを示しています。

【歯周病を防げば、コロナ感染の重症化を抑えられる】

Marouf氏らの研究グループが歯周炎とコロナ感染症の重症化などとの関連性を調べた結果、歯周炎に罹患していると重症化だけでなく、死亡率やICU（集中治療室）への入室、さらに人工呼吸器の必要性についても、有意な関連性が認められることが明らかになりました。これらの結果は、歯周病がコロナ感染症罹患後の経過に重大な影響を及ぼしている事を示しています。もちろん、歯周病予防に大切なのは歯磨き（口腔ケア）です。歯周病を抑えれば、コロナ感染症が悪化しにくい可能性を示唆しているのです。



# 職員研修



## 「褥瘡対策に関する教育」

8/10 (木) 16:00～

褥瘡に関する基礎的な内容について、資料をもとに確認しました。それから実際にベッドを使い、背もたれの角度を上げ下げした際に体の位置がどのようにズレたり、皮膚が引っ張られるのかを意識を向ける機会を設けました。その他に、ご利用者の姿勢の歪みをどのように確認するか、どのようにクッションを当てるか、どのように背抜き（ズレや圧迫感を解消するのか）をしたらよいのか、などを実際にみてもらい、理解を深めました。



## 「権利擁護・虐待防止のための研修」

### 「事故発生の防止のための研修」

9/14 (木) 16:00～

今年度2回目の研修を行ないました。

権利擁護・虐待のテーマでは、日頃の介護現場においてどのような\*不適切ケアがあるのか、虐待につながるために心の状態をどう持って関わっていく姿勢が望ましいかをグループワークにて話し合いました。

事故のテーマでは、介護現場のイラスト（近くに台所があるテーブルにて食事をとられている場面）を見て、どのような危険が潜んでいるか、危険を予測するトレーニングをグループワークにて取り組みました。

\*職員による明らかな虐待もありますが、たとえ自覚なく行なっていたとしても、正しいとは言えないケアを「不適切ケア」と呼びます。

